

## ローマ字における長音のつづり方の例

## ○ 内閣告示に基づく考え方

ア列 (段) 「アー」と発音される音は「â」とつづる

ああ (アア): â 母さん (カアサン): kâsan ばあさん (バアサン): bâsan

参考) 加圧 (カアツ): kaatu/kaatsu 場合 (バアイ): baai 間合い (マアイ) maai

イ列 (段) 「イー」と発音される音は「ii」とつづる

(現代仮名遣いで「いい」とするのと同様。「î」は外来語以外に用いない。)

言い換え (イイカエ): iikae 効いた (キイタ): kiita 新潟 (ニイガタ): Niigata

ウ列 (段) 「ウー」と発音される音は「û」とつづる

空気 (クウキ): kûki 重大 (ジュウダイ): zyûdai/jûdai 勇気 (ユウキ): yûki

エ列 (段) 「エー」と発音される音は、「ê」又は「ei」とつづる

(現代仮名遣いで「ええ」と「えい」は書き分ける。)

ええ (エエ): ê ねえ (ネエ): nê 姉さん (ネエサン): nêsan

英語 (エイゴ): eigo 経営 (ケイエイ): keiei 命中 (メイチュウ): meityû/meichû

オ列 (段) 「オー」と発音される音は、「ô」とつづる

(現代仮名遣いで「おお」も「おう」も同じように書く。)

大きい (オオキイ): ôkii 氷 (コオリ): kôri 遠い (トオイ): tôi 十: (トオ) tô

買おう (カオウ): kaô 父さん (トウサン): tôsan 発表 (ハッピーウ): happyô

※ 大文字の場合は、母音字を並べてもよい (例: KAASAN, KUUKI, NEESAN, HAPPYOO)。また、内閣告示において長音符号は「^」を用いることになっているが、実態としては「-」が用いられる場合が多いと見られる。

## ○ 旅券におけるつづりの原則

イ列 (段)

ニーナ (ニーナ): NINA シーナ (シーナ): SHINA サリー (サリー): SARI

新菜 (ニイナ): NIINA しいな (シイナ): SHIINA さりい (サリイ): SARI I

ウ列 (段)

日向 (ヒュウガ): HYUGA 裕貴 (ユウキ): YUKI 優子 (ユウコ): YUKO

オ列 (段)

大野 (オオノ): ONO 大河内 (オオコウチ): OKOCHI 大西 (オオニシ): ONISHI

妹尾 (セノオ): SENOO 高藤 (タカトオ): TAKATOO 横尾 (ヨコオ): YOKOO

幸太 (コウタ): KOTA 洋子 (ヨウコ): YOKO 亮子 (リョウコ): RYOKO

伊藤 (イトウ): ITO 高藤 (タカトウ): TAKATO 御園生 (ミソノウ): MISONO

※ 旅券では、長音符号を用いない。いわゆるへボン式を原則とするがへボン式によらないローマ字表記 (ITOH、OHNO 等) を相談の上で使用する場合もある。